



KAGOSHIMA

鹿児島県内のいろいろな建物や施設、あるいは人の心の中にあるバリアを取りはらわれています。一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen

鹿児島と熊本を結ぶ
地域密着型のオーシャンライナー

肥薩おれんじ 鉄道

(熊本県八代市)

- ・社名 肥薩おれんじ鉄道株式会社
- ・開業日 平成16年3月13日
- ・経営区間 川内駅～八代駅 (116.9km)
- ※熊本駅・鹿児島中央駅への一部乗り出しあり
- ・駅数 28駅(有人駅10、無人駅18)
- 住所 本社:熊本県八代市萩原町1-1-1
- TEL 0965-32-5678
- FAX 0965-32-5411
- ホームページ <http://www.hs-orange.com>



牛ノ浜駅の様子。ホームと車両の段差はなく、点字ブロックやスロープ、障害者専用駐車場など利用者に優しい環境が整っている



列車の前後 2ヶ所に設けられた車椅子スペース。手すりや緊急呼び出しボタンも設置



ホームと車両の段差がなく、車椅子の自走に慣れた方であれば一人での乗り降りも容易



車椅子スペースのそばに身障者用トイレも完備

● 不知火海や東シナ海に沿って、風光明媚な海岸沿いを走る肥薩おれんじ鉄道。開業は2004年。JR九州からの移管にもない、ハード・ソフト両面において人と環境に優しい地域密着型の鉄道を目指した。

一般車両は、白を基調とした車体にオレンジ、ブルー、グリーンラインのカラーリングを施した軽快急行車。3色のラインは社名にもなった「おれんじ」と「青い海」、「豊かな緑」を表し、「爽やかで、幸せな風を運ぶような鉄道でありたい」との願いが込められている。そのほかイベント専用車両や、カラフルなラッピング車両なども多く登場し、見た目にも楽しい快適な鉄道の旅を提供する。

走行区間は熊本県八代駅から鹿児島県川内駅までの116.9km。停車駅は九州西海岸沿線の町を細やかに繋ぐ28駅。通勤や通学の足だけでなく、病院や福祉施設へ通う高齢者や障害者の大切な移動手段として地域住民に親しまれている。

駅のホームや車両は、移管の際にバリアフリーへの対応を強化。全駅のホーム高のかさ上げによって列車とホームとの段差を解消し、車椅子利用者単独での乗り降りも可能。車両の前後2ヶ所には車椅子のまま乗り込んで快適に移動できるスペースを用意している。列車内のトイレはすべて広々としたバリアフリー型。誘導ブロックとスロープ、手すりなどは有人・無人を問わず全ての駅に備えている。また、車椅子を利用した団体での利用にも積極的に対応。事前の受付があれば乗り降りの際に職員が同行し、列車の発着を駅舎側のホームへ変更するなど丁寧な対応が喜ばれている。

もちろん高齢者や妊婦さんも安心して乗り込める優先席も用意しているが、優先席の指定がなくともお互いに席や通路を譲り合いながら利用するのは人と人の繋がりが色濃く残るのどかな開口カル線ならではの、あたりまえの駅の光景だ。

